

平成28年度 第1回

受注登録企業動向調査結果報告書

<概況>

全体的には受注量が減少傾向ではあるものの、3ヶ月先の受注見通しはやや増加と持ち直しの傾向が見られる。

<項目別の特徴>

- (1)受注量 : 全体的に減少傾向。ただし電気機器は増加。
- (2)受注見通し : 全体的に増加傾向。金属製品、電気機器、樹脂製品で増加。
- (3)受注単価 : 僅かに低下だが、ほぼ横ばい。電気機器で依然2割超の企業が低下。
- (4)資金繰り : 僅かに悪化だが、ほぼ横ばい。精密機器で悪化。
- (5)採算状況 : やや悪化傾向。電気機器、輸送用機器で悪化。
- (6)受注余力 : 「受注余力あり」が減少もほぼ変化なし。

(注) 本報告書で使用するDIとはデュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

調査対象期間 平成28年4月～6月
(平成28年6月末集計)

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 285社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	35社	② 金属製品関係	45社
③ 一般機器関係	45社	④ 電気機器関係	45社
⑤ 輸送用機器関係	35社	⑥ 精密機器関係	40社
⑦ 樹脂製品関係	40社		

(3) 調査時点

平成28年6月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

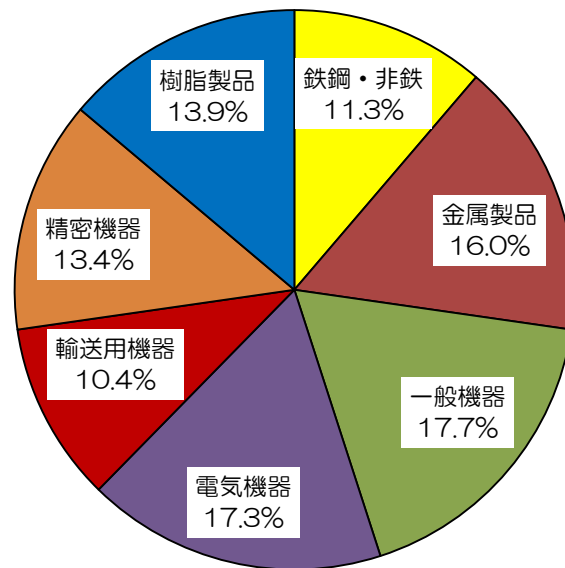
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

(5) 回答状況

① 調査対象企業数	285社		
② 回答企業	231社		
③ 内訳			
鉄鋼・非鉄関係	26社	(11.3%)	
金属製品関係	37社	(16.0%)	
一般機器関係	41社	(17.7%)	
電気機器関係	40社	(17.3%)	
輸送用機器関係	24社	(10.4%)	
精密機器関係	31社	(13.4%)	
樹脂製品関係	32社	(13.9%)	
④ 回答率	81.1%		

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	5 2.2%	1 3.8%			1 2.5%			3 9.4%
~300万円	16 6.9%		4 10.8%		2 5.0%	4 16.7%	3 9.7%	3 9.4%
301~999万円	7 3.0%		1 2.7%			2 8.3%	1 3.2%	3 9.4%
1000~2000万円	137 59.3%	16 61.5%	26 70.3%	25 61.0%	25 62.5%	8 33.3%	19 61.3%	18 56.3%
2001~5000万円	50 21.6%	7 26.9%	6 16.2%	14 34.1%	9 22.5%	4 16.7%	5 16.1%	5 15.6%
5000万円超	16 6.9%	2 7.7%		2 4.9%	3 7.5%	6 25.0%	3 9.7%	
合 計	231 100%	26 100%	37 100%	41 100%	40 100%	24 100%	31 100%	32 100%

(3) 業種別・従業員別回答企業数

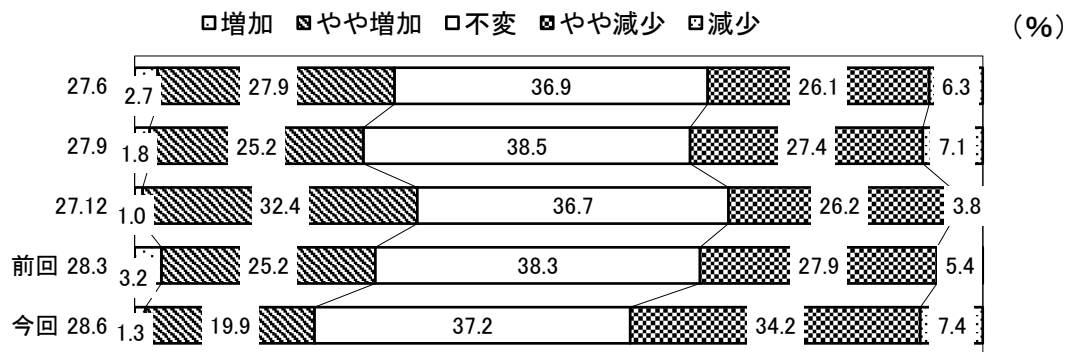
(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	18 7.8%	7 26.9%		2 4.9%	1 2.5%	4 16.7%		4 12.5%
6~10人	31 13.4%	4 15.4%	2 5.4%	2 4.9%	6 15.0%	5 20.8%	7 22.6%	5 15.6%
11~20人	66 28.6%	5 19.2%	16 43.2%	16 39.0%	7 17.5%	2 8.3%	11 35.5%	9 28.1%
21~30人	31 13.4%	4 15.4%	9 24.3%	6 14.6%	5 12.5%	1 4.2%	2 6.5%	4 12.5%
31~50人	36 15.6%	4 15.4%	5 13.5%	7 17.1%	7 17.5%	5 20.8%	4 12.9%	4 12.5%
51人以上	49 21.2%	2 7.7%	5 13.5%	8 19.5%	14 35.0%	7 29.2%	7 22.6%	6 18.8%
合 計	231 100%	26 100%	37 100%	41 100%	40 100%	24 100%	31 100%	32 100%

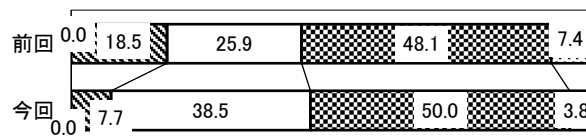
3. 調査結果

(1) 受注量について

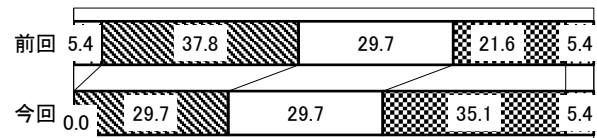
①全体



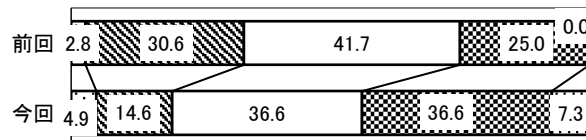
②鉄鋼・非鉄



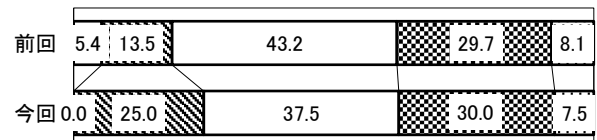
③金属製品



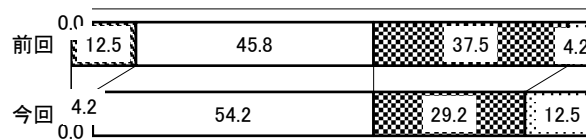
④一般機器



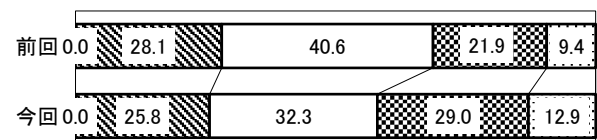
⑤電気機器



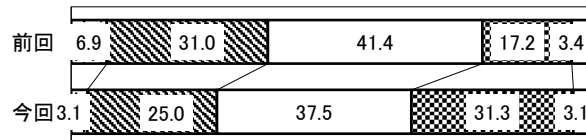
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

・4月～6月期の受注量の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲20.4となり、前期（1月～3月期）のD I ▲4.9と比べ15.5ポイント低下し、受注量は減少傾向である。

○業種別

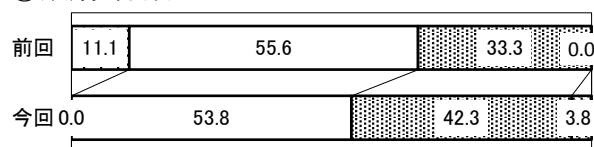
・業種7分類中、D I 値は、前回プラスであった金属製品、一般機器、樹脂製品を含めて全業種でマイナスとなっている。
 ・特に、鉄鋼・非鉄で▲46.1、輸送用機器で▲37.5と「減った」とする回答が多くなっている。
 ・D I 値を前期と比較すると、金属製品が前期16.2から▲10.8となり27.0ポイント低下、一般機器で8.1から▲24.4と32.8ポイント低下、樹脂製品で17.3から▲6.3と23.6ポイントと大きく低下が見られる。
 ・電気機器では前期D I ▲18.9から▲12.5となり6.4ポイント増加と唯一前期比でプラスとなっている。

(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)

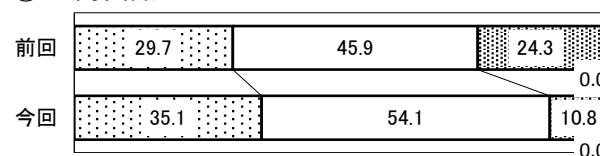
①全体



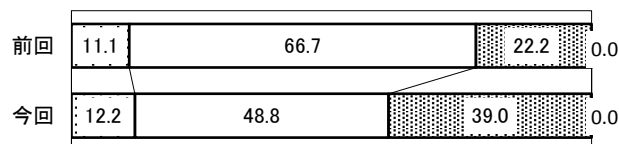
②鉄鋼・非鉄



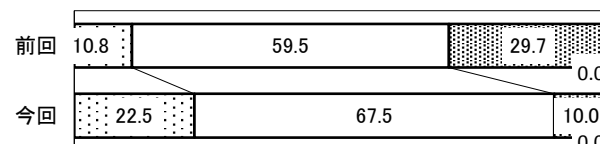
③金属製品



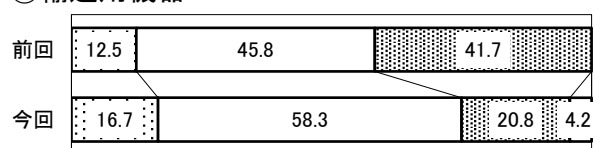
④一般機器



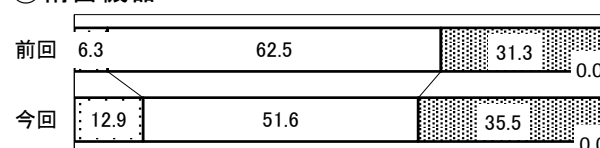
⑤電気機器



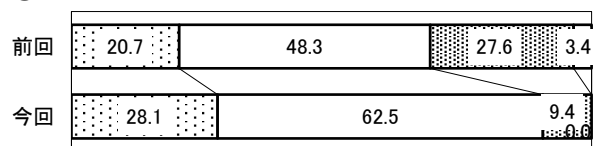
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

・次期（7月～9月期）の受注量見通しの業況判断D I（「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲4.4となり、前期調査時のD I ▲14.4と比べ10.0ポイント上昇し、受注量の見通しは増加とする回答の割合が増えている。

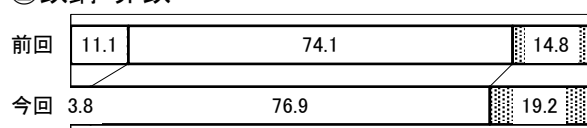
○業種別

- ・業種7分類中D Iがプラスであったのは金属製品(24.3)、電気機器(12.5)、樹脂製品(18.7)の3業種で、鉄鋼・非鉄(▲42.3)、一般機器(▲26.8)、輸送用機器(▲4.1)、精密機器(▲22.6)の4業種はマイナスであった。
- ・D Iを前期と比較すると、金属製品(18.9)、電気機器(31.4)、輸送用機器(25.1)、精密機器(2.4)、樹脂製品(25.6)で上昇しており、鉄鋼・非鉄(▲20.1)、一般機器(▲15.7)の2業種が低下している。
- ・鉄鋼・非鉄を除く6業種で「増加」が増えており、特に、電気機器で前期D I ▲18.9から今期12.5と31.4ポイント増、輸送用機器が前期▲29.2から▲4.1と25.1ポイント増、樹脂製品で▲6.9から18.7ポイント増と増加幅が大きく見られる。
- ・鉄鋼・非鉄では、前期D I ▲22.2から今期▲42.3と20.1ポイントの低下となった。

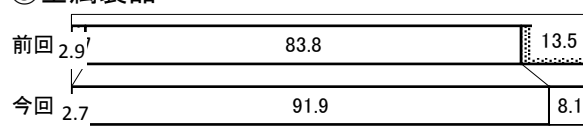
(3) 受注単価について



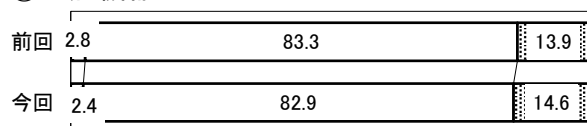
②鉄鋼・非鉄



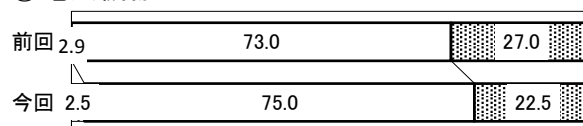
③金属製品



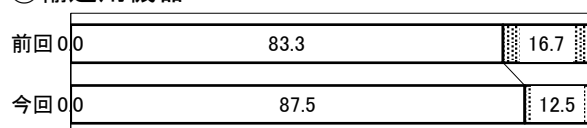
④一般機器



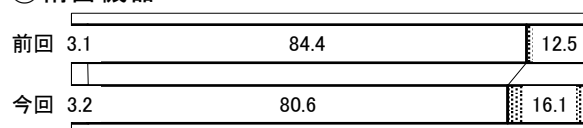
⑤電気機器



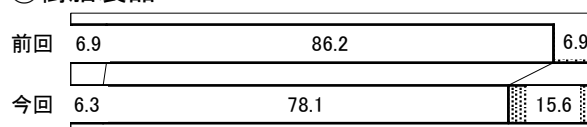
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

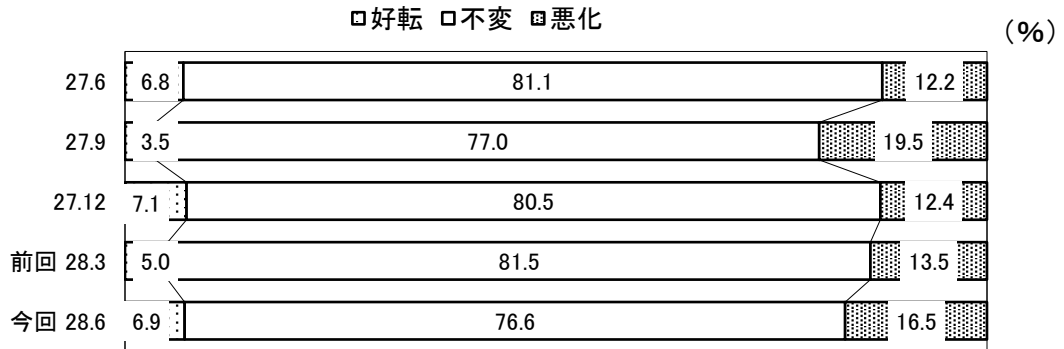
- ・4月～6月期の受注単価の業況判断D I（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲13.0となり、前期（1月～3月期）のD I ▲11.7と比べ1.3ポイント低下と、大きな変化は見られない。

○業種別

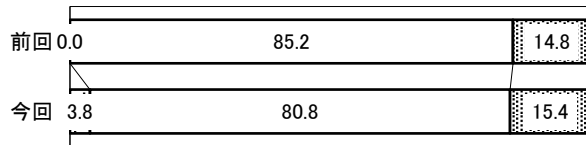
- ・前回D I ±0であった樹脂製品を含めて、2期振りに全業種でD I がマイナスとなった。
- ・D I を前期と比較すると、鉄鋼・非鉄（▲11.7）、一般機器（▲1.1）、精密機器（▲3.5）、樹脂製品（▲9.3）の4業種が低下し、金属製品（2.7）、電気機器（7.0）、輸送用機器（4.2）の3業種で上昇している。
- ・電気機器で「低下」と回答した企業の割合が、前期27.0%から今期22.5%となり、4.5ポイント減少したものの、依然として7業種のなかで唯一20%を超えており厳しい状況となっている。

(4) 資金繰りについて

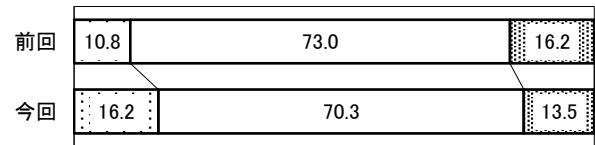
①全体



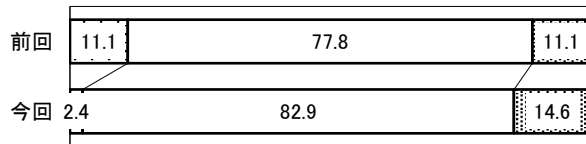
②鉄鋼・非鉄



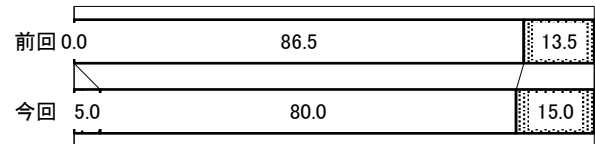
③金属製品



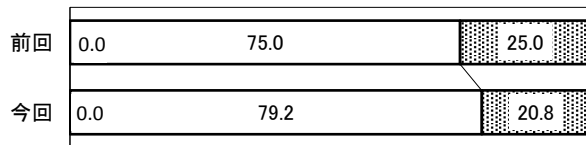
④一般機器



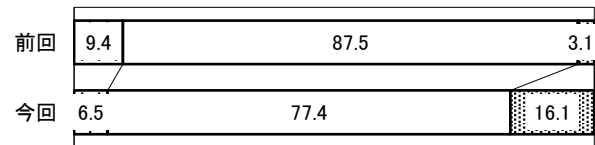
⑤電気機器



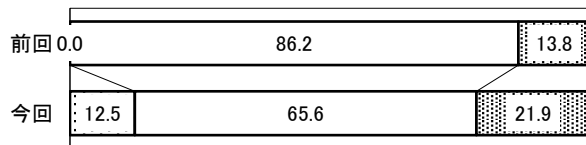
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

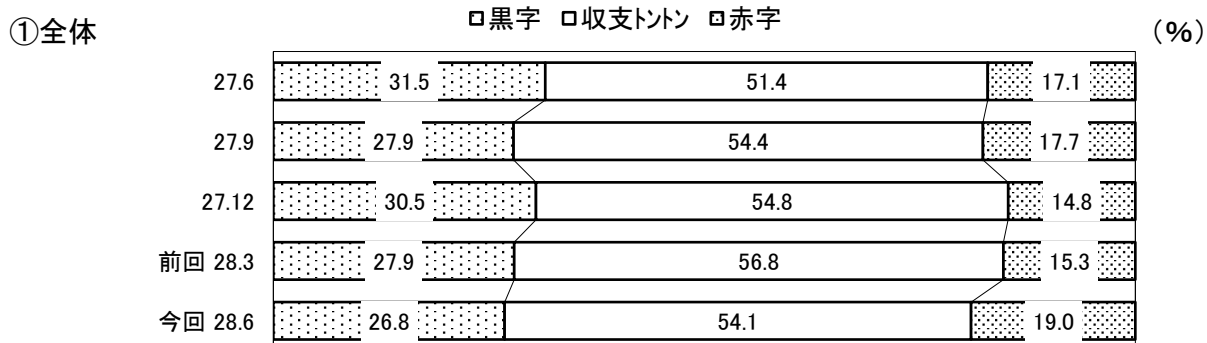
・4月～6月期の資金繰りの業況判断D1（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲9.6となり、前期（1月～3月期）のD1 ▲8.5と比べ1.1ポイント低下した。

○業種別

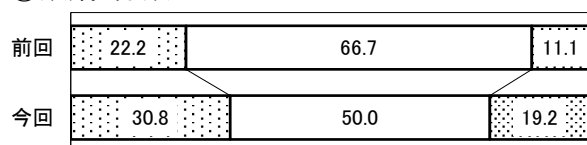
・業種7分類中D1がプラスであったのは、金属製品（2.7）のみで、鉄鋼・非鉄（▲11.6）、一般機器（▲12.2）、電気機器（▲10.0）、輸送用機器（▲20.8）、精密機器（▲12.9）、樹脂製品（▲9.3）の6業種でマイナスとなっている。

・D1を前期と比較すると、鉄鋼・非鉄（3.2）、金属製品（8.1）、電気機器（3.5）、輸送用機器（4.2）、樹脂製品（4.4）の5業種で上昇しており、一般機器（▲12.2）、精密機器（▲15.9）の2業種が低下してしている。

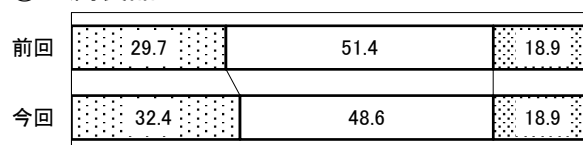
(5) 採算状況について



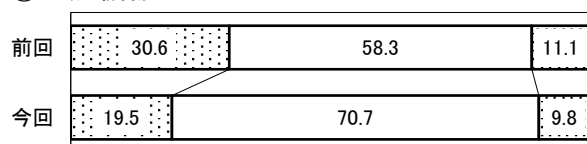
②鉄鋼・非鉄



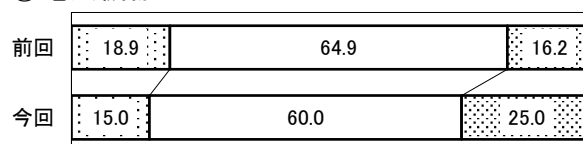
③金属製品



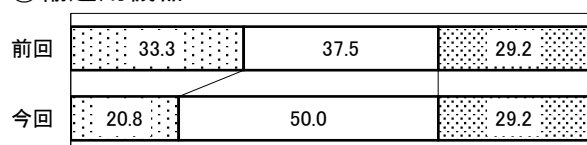
④一般機器



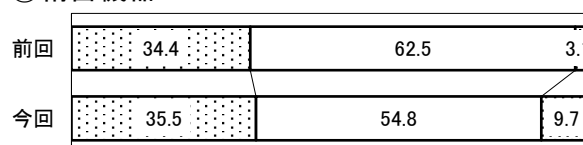
⑤電気機器



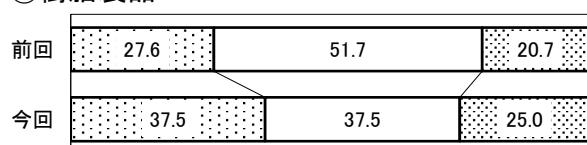
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



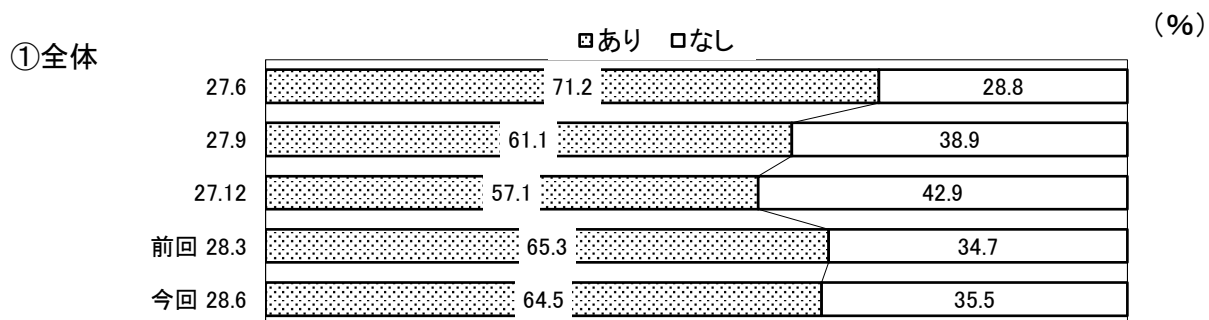
○全体

・4月～6月期の採算状況の業況判断D I（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は7.8となり、前期（1月～3月期）のD I 12.6と比べ4.8ポイント低下した。

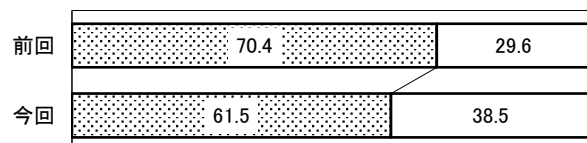
○業種別

・前期は、業種7分類中全てでD Iがプラスであったが、今回は電気機器（▲10.0）、輸送用機器（▲8.4）の2業種でマイナスとなった。
 ・D Iを前期と比較すると、鉄鋼・非鉄（0.5）、金属製品（2.7）、樹脂製品（5.6）の3業種で僅かながら上昇、一般機器（▲9.8）電気機器（▲12.7）、輸送用機器（▲12.5）、精密機器（▲5.5）の4業種が低下している。

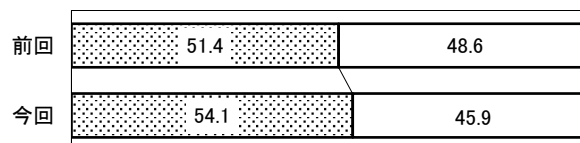
(6) 受注余力について



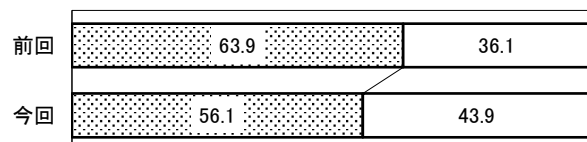
②鉄鋼・非鉄



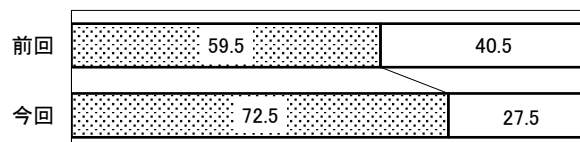
③金属製品



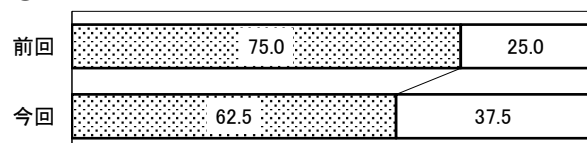
④一般機器



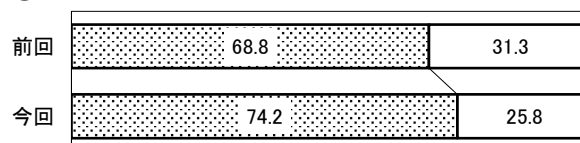
⑤電気機器



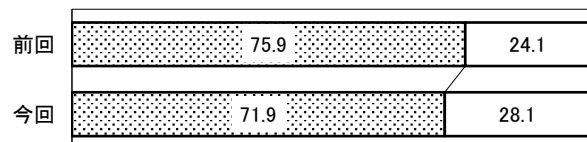
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

- ・4月～6月期は「受注余力なし」とする企業が35.5%と、前期と比較して0.8ポイントと僅かながら増加した。

○業種別

- ・業種7分類中全てで「受注余力あり」が「受注余力なし」を上回っている。
- ・前期と同様、金属製品が全業種の中で最も余力割合が少ない。(余力なし45.9%)
- ・前期と比較すると、金属製品8.9ポイント増、電気機器13.0ポイント増、精密機器5.4ポイント増と3業種で「受注余力あり」とする割合が増加し、鉄鋼・非鉄8.9ポイント減、一般機器7.8ポイント減、輸送用機器12.5ポイント減、樹脂製品4.0ポイント減と4業種が「受注余力あり」の割合が減少となっている。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 313-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp